

活動名	じ分やほかの人の体を大切にしよう		
学校名	平塚市立崇善小学校、平塚市立なでしこ小学校		
学年	第1学年	人数	崇善小：34人、33人、33人、33人 なでしこ小：26人、27人
日時	崇善小学校 令和6年1月15日（月）9：40～10：25、13：45～14：30 2月5日（月）10：45～11：30 なでしこ小学校 令和5年9月29日（金）9：35～10：20、10：40～11：25		
取扱いの分類	学級活動		
講師	養護教諭		
学習のねらい	（1）自分の体の大切さに気付くとともに、他の人の体も大切にしようことができるようにする。 （2）プライベートゾーンについての4つのルールを知る。 （3）自分の体を守るための対応策を知り、身に付けることができるようにする。		
内容	（導入） 1. 自分の体は自分だけの大切なものであることを理解する。 ・発問：「けがをした時どうしますか」 2. 本時のめあての確認をする。 ⇒ じ分や ほかのひとの からだを たいせつにしよう （展開） 3. プライベートゾーンを知る。 ・発問：「からだの大切な部分はどこだと思いますか」 ・水着を着た人型イラスト教材を用いて、発言のあった体の部位は板書する。 ・特に大事な場所は、口、胸、おしり、性器がプライベートゾーンであることを伝える。 4. 自分の体を触られたり見られたりしたとき、どんな気持ちになるか考える。 5. プライベートゾーンについての4つのルールを知る。 ・プライベートゾーンの4つルール「見ない、見せない、触らない、触らせない」を伝える。 6. 嫌なことをされたとき、どう対処すればいいのか考える。 ・文部科学省作成の低学年用の動画を視聴する。（4:45～） ・対処法を黒板掲示する。 ・学区内の公園に場所を設定し、実際に対処法を体験してみる（ロールプレイング） ・うまく対応できず、嫌だと言えない、逃げられないことがあっても、悪いことではないことに触れ、必ず信頼できる大人に話すことを伝える。 （まとめ） 7. プライベートゾーンの4つのルールと、触られたとき、見られた時の対応を確認する。 8. 本時で学習したことをふりかえる。 （参考） ・第1章総論編：小学校における性に関する指導の目標及び指導内容、人権教育 ・第2章実践編：低学年「じぶんのからだ」（特別活動）		

成果 (児童・生徒、 教職員の感想 等)	児童からは「ルールや困ったらすることがわかってうれしい」「いちばんだいじだいじなところがわかってうれしい」等感想があった。テーマについて学びを深める事ができたようである。また、授業前にトイレののぞき見をされて嫌な思いをしたという報告があったようだ。担任からは「授業を行うと今後、指導もしやすくなる」との声があった。
課題	ロールプレイでは、担任を加害者役としたが、テンションが爆発的に上がってしまったため、ふざける児童もあり、本来の目的である「自分事として考え、習ったことを実践する」ということを達成しにくかった。工夫が必要。
学校全体での 取組や工夫 (予定も可)	水泳の授業が始まる時期合わせて指導をした。 日常生活の児童同士の関わりの中でも、プライベートゾーン的话题に触れて指導するようにする。

4つのルール

- 1 みない
- 2 みせない
- 3 さわらない
- 4 さわらせない





今日のまとめ



たいせつなこと①
プライベートゾーンを守れ！

《4つのルール》

- 1 みない
- 2 みせない
- 3 さわらない
- 4 さわらせない

たいせつなこと②
困ったときは…

- 1 「いやだ」という
- 2 にげる
- 3 おとなにはなす

↓

できなくてもわるくない！
あんしんできるおとなにはなす！

じぶんやほかのひとのからだをたいせつにしよう



プライベートゾーン4つのルール

1 みない

3 さわらない

2 みせない

4 さわらせない

こまじら



いやだ



にげる



はなす